

留学だより vol.1

Sept.

のんびりしていたら9月が終わっていました。行事週間楽しそうでしたね。お疲れ様です。13期生の増田です。次世代リーダー育成道場10期生としてカナダのオンタリオ州 North Bay という町に留学しています。今後10か月にわたって留学だよりを書いていくので、よろしくお願いします。

1. ジェット燃料をば早や積み果てつ

見送りに来てくれた家族に手を振りながら搭乗ゲートをくぐり、飛行機に搭乗しました。同じ留学プログラムの友達（次世代生）とはかなり離れたど真ん中の席で、空の景色は見えないので、13時間のフライトで The Matrix と The Matrix Reloaded を見て、ぐうぐうと寝ていたらいつの間にか着いていました。添付はまさかの和食だったエア・カナダの1回目（夕食）の機内食です。飛行機は久しぶりだったので、Beef or chicken? 以外に種類があることに驚きました。2回目（朝食）の機内食は、右側の列は Noodles or sausage? と聞いているのに、左の列は Noodles or cake? と聞いている気がして、怖かったので共通項を取って Noodles にしました。



パスポートのスキャンする向きを間違えたり申告する滞在日数を間違えたりしていたら、入国に5時間かかってしまいました。その日の晩から、2泊3日でトロントの Chelsea Hotel に泊まり（豪華です）オリエンテーションの後、午前1時になっても明るいトロントの夜景、そして夕焼け色に染まった旧市役所などを楽しみました。



↑朝のトロント

見えにくいですが路面電車です↑

2. How can I pronounce this?

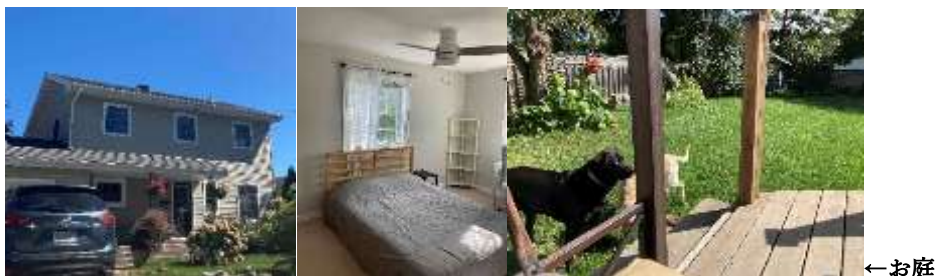
8月31日の昼、まるで修学旅行に来たかのようにウキウキ日本語で喋りあっていた次世代生と別れ、バスでホームステイ先の North Bay に向かいました。道中、建物の背は低くなっていき、広葉樹林から針葉樹林に移り変わり、特に高い山もないのでまっすぐ続く道を4時間ほど走りました。そしてついに、バスを降りホストファミリーに直面しました！記念すべき一言目はたしか”How can I pronounce this (名前が書かれたボードを指さして)? “だったと思います。



↑左から私、ホストファザー、マザー、Luke

3. ホストファミリー

ホストファザーは寡黙でアウトドア好きな甘党の60代、ホストマザーは陽気で朗らかなスコットランドからの移民の50代です。息子さんは既に家を出ており、娘さんがトロントの大学に通っているので空いた二つの部屋を私とドイツからの留学生 Luke に貸してくださっています。息子さんは日本に2週間滞在したのち韓国の大学に通っているようで、日本の文化や食品についてよく知っていました。娘さんはホストファミリーの資料には書いてありませんでしたが、学校が始まるまでは実家にいてとても賑やかでした。



犬は二匹おり、元気な Finn とずんぐりしておとなしい Levi (リヴァイ) です。Finn は私のことを気に入っているようで、初めて会ったときこそ警戒していましたが、後を追いかけたり、足元をグルグル回ったり、私を見るたびしっぽを振りながら飛びついてきたりするようになって、とてもかわいいです。



↑ 珍しく静かだった Finn

↑ 珍しく元気だった Levi (リヴァイ)

4. 日常

特に予定がなければ、朝は好きな時間に起きて自分でトーストかシリアル朝食を作ります。家族揃って食べる必要はないのでご飯が冷めるからと起こすことはなく、気を抜くと10時に起きていたりします。昼は一緒に食べますが、カップラーメン一杯だけのこともあり特に栄養は気にしていないようです。たまに裏山（緑がたくさんので、大昔の氷河が解けて流れていったため、時折見られる岩は流れるような紋が入っています。）で犬の散歩をして、5時になったらみんな揃って夕飯を食べます。



↑ 裏山の散歩。氷河が流れた跡らしいもの

↑ 本場のメープルシロップ！

日本では9時か遅いときは10時にご飯を食べていた私にとってはとても早い時間帯です。基本的にハンバーガーやパスタが多いですが、最近炊飯器を買ったようで米料理や中華料理もたまに出てきます。カナダ人はとんでもない量を食べるものだと思っていましたが、家族のみんなは案外少食で、私は鍋に残っているものを全部食べつくして満腹になっています。

食後は犬と戯れ、お喋りして、それぞれの部屋に戻ると、その後は個人の時間です。それぞれ映画を見たり、スマホを見たり、各々の時間を楽しみ、そのまま寝床につきます。7時半には日が沈み、8時には暗くなるので遅くても10時ごろにはみんな寝ています。

ちなみにシャワーは朝、もしくは外出して少し汚れたと感じた時にするようです。外から帰ってきたときも全員すぐ手を洗っているようには見えないので、汚れや虫などについてはルーズなのだと思います。

ショッピングモールや湖、山も車を使えばすぐ行けて、とても住みやすいです。また、9月初旬は虫があまり出ない上に、そもそも乾燥して涼しいので汗っかきの私でもなかなか汗をかかず、快適でした。9月下旬には朝は2°Cのことがあり日本の冬のようにでしたが…。



↑車で数分行くと海みたいな湖やら山やらがあります

ドーナツ屋 Tim Hortons ↑

5. 感じたこと等々

来て最初に感じたのは、自分の英語力の不甲斐なさです。そういえば私はリスニングが苦手で、英語の成績も素晴らしかったのは中学二年生までだったことを失念していました。ホストマザーはよくジョークを言うのですが、最初は本当に意味が分からずとりあえず笑っていて、ハハハハ…と静まり返るのが日常でした。(日本でもたまにそういうことがあるので精神的にはなんともありませんでしたが。)

しかし1週間ほど経ってからか、段々とですが言っていることが分かってきて、今はたまに話の食い違いがありながらも普通に会話できるようになりました。万歳！

ただ、Lukeは英語が流暢なので(彼は私費留学生で、小さいころから英語を使う家族の下で育てられたようです)家族と自然に話していて、話している内容を追っていくので精一杯な私からするととても羨ましいです。しかし英語学習の目的が目の前にあるというのは素晴らしいことなので感謝しています。

生まれて初めてアメリカ大陸に渡ると、日常の中でたくさん気づきがあります。

- ・庭の周りに柵がなく、堀みたいに大きい用水路がある。
- ・水道水が飲める(日本だけかと思っていました!)
- ・住所を示すので、一つ一つの小さな道にちゃんと名前がある。
- ・照明が暗い(デスクライトを使って明るくしています)。
- ・日差しが強い(私は水泳部なので5階のプールサイドの強い日差しで鍛えたメラニン色素と瞳孔括約筋がありますが、インドア派のLukeにとっては30分ボートに乗るのも日焼け止めが必要なそうです)。
- ・だいたい北にあるが、ハイウェイが通っているので桃もレモンも食べられる。

最後まで読んでいただきありがとうございます。来月は紅葉やハロウィンなどのイベント、学校のことについて書きたいと思います。お楽しみに。

増田